

科目			
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ	2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター(2019 年度秋セメスター時点)		2~6 セメスター*詳細は募集要項をご覧ください。	
プログラム名		APU グローバルリサーチプログラム (担当: 須藤 智徳)	

1. プログラム名	APU グローバルリサーチプログラム			
2. 担当教員	須藤 智徳 教授 ※申請の結果、グループ数が 12 グループを超えた場合、銭 学鵬 准教授と共同で授業を行います。			
3. 実習地 (申請時に希望地を選択)	スウェーデン: スtockホルム(須藤 智徳) 韓国: ソウル(轟 博志) カナダ: バンクーバー(銭 学鵬) ベトナム: ホーチミン(田原 洋樹) <b>※本プログラムは実習地によって、参加費ならびに実習時期が異なります。詳しくは、シラバスの「9.参加費」「13.スケジュール」を参照してください。</b>			
4. 開講年度	2020 年度春セメスター			
5. 開講言語	・日本語 <i>[実習で使用する場合がある言語]</i> ・英語、ベトナム語、韓国語			
6. 単位数	2 単位 -セメスターの履修登録上限単位数に含みません。			
7. プログラム概要		実習地	研究テーマ(例)	担当教員
		スウェーデン、ストックホルム	ストックホルム市内で調査できること。教育、環境など。	須藤 智徳
		韓国、ソウル	ソウル・首都圏で調査できること。歴史、地理、観光など。	轟 博志
		カナダ、バンクーバー	バンクーバーで調査できること。持続可能な開発、教育、経済、歴史、観光、文化と言語など。	銭 学鵬
		ベトナム、ホーチミン	ホーチミン市内で調査できること。文化と言語など。	田原 洋樹
<p>本プログラムは、APS の各学修分野で自らが関心を有する研究テーマについて、研究調査方法を習得するとともに、実際に派遣対象地に赴き、調査計画に基づいた調査を実施し、その結果を調査報告書にまとめるまでのプロセスを実践的に学修するものである。</p> <p>本プログラムでは、事前授業として、研究テーマの設定、調査研究計画の策定、現地調査前の事前調査に関する手法について講義を行うとともに、受講者自らが派遣地において実施す</p>				

科目			
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ	2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター(2019 年度秋セメスター時点)		2~6 セメスター*詳細は募集要項をご覧ください。	
プログラム名		APU グローバルリサーチプログラム (担当: 須藤 智徳)	

	る研究調査計画策定を実践的に行う。また、派遣地においては、事前授業において策定した研究調査計画を基に現地調査を実施し、帰国後、研究調査報告書を作成し提出することが求められる。										
8. プログラムのねらい	本プログラムの履修により、研究調査手法や研究調査計画書策定手法、および現地調査手法を実践的に修得し、卒業論文を含む大学での研究調査活動や、卒業後の大学院での研究や企業等での調査研究活動に活かすうる研究調査能力を形成することを目的とし、本プログラムでの実際の調査研究活動を通じて、特定のテーマに関する研究調査報告書を作成し、大学学部でのより深い研究への足がかりとなることを狙いとしている。										
9. 参加費 (目安)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実習地</th> <th>プログラム費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スウェーデン、ストックホルム</td> <td>50,000 円</td> </tr> <tr> <td>韓国、ソウル</td> <td>35,000 円</td> </tr> <tr> <td>カナダ、バンクーバー</td> <td>60,000 円</td> </tr> <tr> <td>ベトナム、ホーチミン</td> <td>60,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>[含まれるもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 現地宿泊費</li> <li>➢ プログラム運営費(現地施設使用料、講師料等)</li> </ul> <p>[含まれないもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 渡航費</li> <li>➢ ポケット Wifi、現地携帯電話手配費</li> <li>➢ 食費</li> <li>➢ VISA 取得費用(必要な場合)</li> <li>➢ 海外旅行保険、J-TAS 費用</li> <li>➢ 日本国内および現地交通費</li> <li>➢ 予防接種費(希望者のみ)</li> </ul>	実習地	プログラム費	スウェーデン、ストックホルム	50,000 円	韓国、ソウル	35,000 円	カナダ、バンクーバー	60,000 円	ベトナム、ホーチミン	60,000 円
実習地	プログラム費										
スウェーデン、ストックホルム	50,000 円										
韓国、ソウル	35,000 円										
カナダ、バンクーバー	60,000 円										
ベトナム、ホーチミン	60,000 円										
10. 履修の目安	事前授業 20 時間(講義等 12 回) + 実習・現地講義 16 時間 本プログラムは日本語開講であるが、現地での調査は英語(または派遣先において必要な場合ベトナム語、韓国語)で行うので、英語等での議論が行えることが望ましい。 APS の各学修分野のいずれかに関心を有していること。関心を有する入門授業を履修していることが望ましい。										

科目			
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ	2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター(2019 年度秋セメスター時点)		2~6 セメスター*詳細は募集要項をご覧ください。	
プログラム名		APU グローバルリサーチプログラム (担当: 須藤 智徳)	

11. 到達目標	<p>以下の点を習得することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－特定の課題について研究テーマを設定し、リサーチクエスチョンを設定することができる。</li> <li>－研究調査に必要な文献、データを取得し、分析することができる。</li> <li>－現地調査に必要な事前準備を計画し、実施することができる。</li> <li>－インタビュー等を通じた必要な情報やデータの取得することができる。</li> <li>－調査結果を報告書としてまとめることができる。</li> </ul>
12. Teaching Method	<p>[事前授業]</p> <p>リサーチ手法と調査研究報告書の作成について学ぶ。また、受講生自身が研究テーマを設定し、現地調査計画を作成するとともに、現地調査に必要な各種手配等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－研究課題の特定、リサーチクエスチョンの設定</li> <li>－調査フレームワークの策定</li> <li>－文献調査、データ分析</li> <li>－クエスチオネア(質問票)作成</li> </ul> <p>[現地実習]</p> <p>受講生自らが作成した研究調査計画に沿って、現地調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－現地実習中は、毎日必ず現地指導担当教員と1日の振り返りを行い、翌日の行動計画を確認する。</li> </ul> <p>[多文化協働学修に関する環境と手法]</p> <p>本プログラムでは、グループによる研究調査を中心とする。また、本プログラムでは、日本とは経済、政治制度、文化や宗教的背景の異なる国を訪問し、事前授業で作成した研究調査計</p>

科目			
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ	2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター(2019 年度秋セメスター時点)		2~6 セメスター*詳細は募集要項をご覧ください。	
プログラム名		APU グローバルリサーチプログラム (担当: 須藤 智徳)	

	画に基づき、現地調査を実施するものであり、多文化協働を理論的及び実践的に考察する機会を提供するものである。																														
13. スケジュール	<p>[事前授業] ※ガイダンス日時は募集要項を参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>曜日</th> <th>時限</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月14日</td> <td rowspan="13">火</td> <td rowspan="13">6</td> <td>イントロダクション: 授業概要等の説明、担当教員紹介</td> </tr> <tr> <td>4月21日</td> <td>リサーチクエスチョン、仮説を立てる</td> </tr> <tr> <td>4月28日</td> <td>調査方針の策定、調査フレームを作る</td> </tr> <tr> <td>5月5日</td> <td>文献、資料を探す</td> </tr> <tr> <td>5月12日</td> <td>ステークホルダー分析</td> </tr> <tr> <td>5月19日</td> <td>調査対象国概要</td> </tr> <tr> <td>6月9日</td> <td>調査スケジュール作成手法</td> </tr> <tr> <td>6月16日</td> <td>インタビュー調査手法</td> </tr> <tr> <td>6月23日</td> <td>データ収集手法</td> </tr> <tr> <td>6月30日</td> <td>データ分析手法</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>現地調査計画書・調査報告書ドラフト</td> </tr> <tr> <td>7月14日</td> <td>調査計画プレゼンテーション</td> </tr> </tbody> </table> <p>* なお、毎回の授業は講義とワークショップで構成される。</p> <p>[実習の基本的な流れ]</p> <p>Day1 (日) 3:00PM 現地集合 (プログラム開始)</p> <p>Day2 (月) 現地大学授業、現地調査、振り返り①</p> <p>Day3 (火) 現地調査、振り返り②</p> <p>Day4 (水) 現地調査、振り返り③</p> <p>Day5 (木) 現地調査、振り返り④</p> <p>Day6 (金) 現地調査、振り返り⑤</p> <p>Day7 (土) 9:00AM 現地解散 (プログラム終了)</p>	日	曜日	時限	内容	4月14日	火	6	イントロダクション: 授業概要等の説明、担当教員紹介	4月21日	リサーチクエスチョン、仮説を立てる	4月28日	調査方針の策定、調査フレームを作る	5月5日	文献、資料を探す	5月12日	ステークホルダー分析	5月19日	調査対象国概要	6月9日	調査スケジュール作成手法	6月16日	インタビュー調査手法	6月23日	データ収集手法	6月30日	データ分析手法	7月7日	現地調査計画書・調査報告書ドラフト	7月14日	調査計画プレゼンテーション
日	曜日	時限	内容																												
4月14日	火	6	イントロダクション: 授業概要等の説明、担当教員紹介																												
4月21日			リサーチクエスチョン、仮説を立てる																												
4月28日			調査方針の策定、調査フレームを作る																												
5月5日			文献、資料を探す																												
5月12日			ステークホルダー分析																												
5月19日			調査対象国概要																												
6月9日			調査スケジュール作成手法																												
6月16日			インタビュー調査手法																												
6月23日			データ収集手法																												
6月30日			データ分析手法																												
7月7日			現地調査計画書・調査報告書ドラフト																												
7月14日			調査計画プレゼンテーション																												

科目			
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ	2017 年度カリキュラム	APS フィールド・スタディ
申請可能セメスター(2019 年度秋セメスター時点)		2~6 セメスター*詳細は募集要項をご覧ください。	
プログラム名		APU グローバルリサーチプログラム (担当: 須藤 智徳)	

	[実習スケジュール]		
	実習地	担当教員	期間
	スウェーデン、ストックホルム	須藤 智徳	2020 年 9 月 6 日(日)- 9 月 12 日(土)
	韓国、ソウル	轟 博志	2020 年 9 月 6 日(日)- 9 月 12 日(土)
	カナダ、バンクーバー	銭 学鵬	2020 年 8 月 16 日(日)- 8 月 22 日(土)
ベトナム、ホーチミン	田原 洋樹	2020 年 8 月 23 日(日)- 8 月 29 日(土)	
14. 成績評価方法	出席および授業・実習への貢献 20% 調査計画書 30% 最終レポート 50%		
15. 学生への要望事項	<p>政治情勢の急変や天候等により現地実習の内容が変更となることがあります。</p> <p>食生活等の生活習慣や宗教的習慣が異なりますので、訪問国の文化や習慣へのリスペクトを忘れないように。</p> <p>その他の注意事項に関しては授業の中でも説明しますが、申請前に疑問等があれば担当教員に相談してください。</p> <p>-海外プログラムに参加するためには、出発から帰国までの期間について、大学が指定する海外旅行保険および JCSOS 危機管理システムへの加入が必要です。詳細については、受講を許可された学生に対して別途に案内します。</p>		
16. Textbook /教科書			
17. Further readings 参考文献			
18. Others / 上記以外	事前授業時に受講者に講義資料等を配布する。		
19. Notes/その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集人数:60(各派遣地 15 名以内)</li> <li>最少実施人数: 各派遣地 5 名</li> <li>派遣地域安全情報: レベル 0~1</li> </ul>		